

出張研修会報告

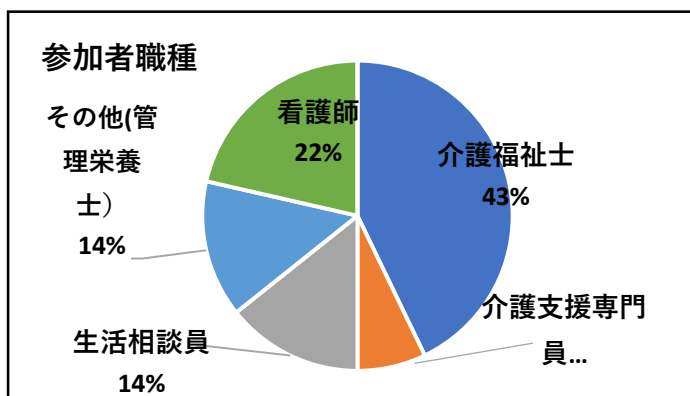
この研修会は、『専門性を高めよう～介護現場で活かせる実践力』をテーマに、在宅・介護現場で働く方々の知識・技術の向上を目指し開催しました。

日 時	令和7年12月16日（火） 14:00～15:00
開催場所	特別養護老人ホーム 新寿荘
講 師	県立新庄病院 主任言語聴覚士 沼澤 明日美氏
研修内容	安全なお食事介助のために ～食事介助の基本～ ・安全な食事介助のための基礎知識 ・食事介助の基本 ・嚥下内視鏡検査（VE）について
参加人数	14名

アンケート回答状況：参加者 14名、回答者 14名（回答率 100%）

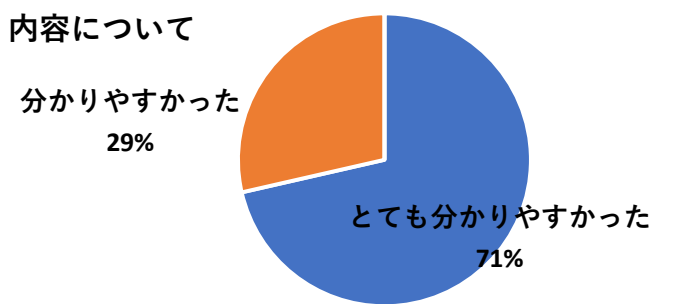
参加者職種

所属	人数	割合
介護福祉士	6	43%
介護支援専門員	1	7%
生活相談員	2	14%
介護職員	0	0%
その他(管理栄養士)	2	14%
看護師	3	21%
リハビリ	0	0%
計	14	100%



1. 研修会の内容について、いかがでしたか。

	人数	割合
とても分かりやすかった	10	71%
分かりやすかった	4	29%
あまりわからなかった	0	0%
その他	0	0%
無回答	0	0%
計	14	100%



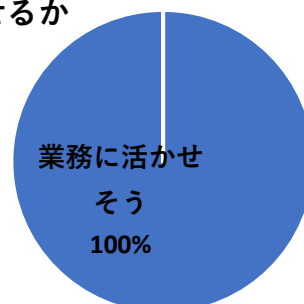
《とても役に立った、役に立った 主な理由》

- ・姿勢、食事の順番、喉ぼとけの動きが具体的に動画もあり分かりやすかったです
- ・動画で説明してもらい分かりやすかったです
- ・食事の最初と最後に水を勧める理由がとても分かりやすく、嚥下にもつながるということがよく分かりました
- ・今まで介助している中で、上体を確認しながら行っていましたが、それ以上に大事な部分も聞くことができました
- ・事例なども紹介しながら説明されていて分かりやすかったです
- ・頭にタオルやクッションを使って前屈させないことが誤嚥を防ぐために大切だと分かりました

2. 今後の業務に活かそうですか。

	人数	割合
業務に活かそう	14	100%
まあまあ活かそう	0	0%
あまり活かさない	0	0%
活かさない	0	0%
無回答	0	0%
計	14	100%

業務に活かせるか



《業務に活かそう、まあまあ活かそう 主な理由》

- ・今後の食事介助に活かせると思いました
- ・今後、今日の研修を大切にしていきます
- ・側臥位方法は安全だとはじめて知りました

3. どのような内容が印象に残っていますか。

- ・唾を飲み込むのが非常に大変でした
- ・むせない誤嚥について詳しく知ることができました
- ・とろみの強さなど細かく分かってよかったです
- ・誤嚥と窒息の違い、注意点など
- ・食事時の体位、食事介助の方法
- ・粥ゼリーを提供している方が増えているため、その方への食事介助の基本をあらためて知ることができてよかったです。
- ・あらためて喉骨を認識しての介助が必要だと思いました
- ・ベッドをただ上げて食べさせるのではなく、首を意識しながら介助を行っていくことが大切だと思った
- ・口腔内をきれいにするのは分かっていたが、喉まできれいにが印象に残りました
- ・毎日「パタカラ体操」をしていきたいと感じました
- ・側臥位にて食事をする方法を実践してみたいです
- ・30秒間で高齢者は3回しか飲み込めない事を知り、口の中を飲み物で潤すことの大切さがわかった
- ・ベッドで過ごす方は、首が進展しないように普段からタオルなどで調整することが大事だということが分かりました

